



# 事業概要【「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか4自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	371,750千円（50,387千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<p>○本県の多様な風土により育まれた豊かな自然や文化など、地域の特色を生かし、地域全体をつなぐことで、付加価値の創造と地域内消費連鎖によって稼ぐ力を向上させ、「ふくしまの宝」による地域経済の活性化を目指す。</p> <p>○本県食料品関連産業を魅力的な産業として発展させていくことで、「もの」の生産力強化が地域の「しごと」を生み出し、新たな「ひと」を呼び込む。</p>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳は R7年度事業費	<p>○ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業 ・地域産業6次化を核としたビジネスモデルの構築（委託費）33,446千円</p> <p>○ICT活用園芸産地革新モデル確立事業 ・実証ほにおける生育・環境、栽培管理データの収集・解析、現地支援（補助金）3,048千円</p> <p>○ふくしまの有機農業ひとづくり強化支援事業 ・有機農業の就農者確保のための支援（委託料）5,500千円</p> <p>○次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業 ・飼養管理技術や経営管理の能力向上を目的とした研修会開催を支援（補助金）1,116千円</p>		
	 <p>6次化の支援により開発された新商品</p>		 <p>6次化交流会の様子</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①加工や直売等の年間販売金額（+64.5億）</p> <p>②ICT+ミスト冷房の導入農家数（+78戸）</p> <p>③県認証機関での有機JAS認証新規面積（+20ha）</p> <p>④経産牛飼養頭数75頭以上の経営体数（+11経営体）</p>		
	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県： <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a> <a href="https://www.fukushima-message.com">https://www.fukushima-message.com</a></p> <p>須賀川市： <a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html</a></p> <p>西会津町：調整中 （効果検証）</p> <p>福島県： <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p> <p>須賀川市： <a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html</a></p> <p>西会津町：調整中</p>	

※福島県、会津若松市、須賀川市、西会津町、石川町の広域連携事業

# 事業概要【ビジネスから人の流れにつなげるふくしま共創プロジェクト】


旧制度（推進）

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	163,470千円 (14,038千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	新型コロナウイルスの感染拡大を契機にニューノーマルと呼ばれる新しい生活様式や働き方を踏まえた人々の意識や行動が変容しつつある中、会津大学の立地や先端技術を活用したまちづくりを進める本県の特徴を生かし、首都圏からの人や企業の流れを創出するとともに、そうした人材が地域との関係性を深める仕組みを構築することで関係人口の増加ひいては移住や定住・二地域居住に結び付けていく。		
事業概要・主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>○地域課題解決型先端サービス実装化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア分野の遠隔診療プロジェクトについて、市内に立地する3つすべての総合病院でのシステムを導入するとともに、市内や南会津地方からの救急搬送 中における広域連携での遠隔診療を実現（補助金）7,500千円</li> <li>○スマートシティサポーターを核としたサービス普及業務</li> <li>・スマートシティサポーター等の市民、地域業界団体及びサービス提供企業が連携したサービス立案及び評価ワークショップを実施（委託料）5,488千円</li> <li>・地域幸福度指標活用研修（委託料）1,050千円</li> </ul> </div> <div style="flex: 2;"> </div> </div>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本事業によって創出された関係人口 (+2,800人)</p> <p>②本事業によって創出された関係企業 (+153社)</p> <p>③新たに生まれた地域プロジェクトの件数 (+32件)</p> <p>④移住やビジネス交流等に関する相談件数 (+320件)</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>会津若松市：<a href="https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/">https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/</a></p> <p>白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a></p> <p>（効果検証）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p> <p>会津若松市：調整中</p> <p>白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a></p>



※福島県、会津若松市、白河市の広域連携事業

# 事業概要【デジタルを核とした新たな県産品販路拡大プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	275,805千円 (40,480千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<p>変化する消費者の志向に対応し、消費者に選ばれる強い商品力を持った商品開発を支援することで、プロダクトアウトからマーケットインへのビジネスモデルの転換を図る。</p> <p>また、デジタルチャネルを活用しつつ、しっかりとした顧客目線のコンテンツによるマーケティングを行うことで、狙った消費者へ確実に訴求し、県産品の販路拡大を図る。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○県産品デジタルプロモーション発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトを活用したプロモーション 17,348千円</li> <li>・SNSを活用したプロモーション 15,652千円</li> <li>・オンラインコミュニティを活用したプロモーション 7,480千円</li> </ul>	 <p>オンラインコミュニティを活用したイベントの様子</p>	
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルマーケティング事業に係るWEBサイトユーザー数（サイトへ訪問した人数から重複を除いた人数）（+498,000数）</li> <li>②WEBサイトの直帰率（最初のページだけを見て離脱してしまったセッションの割合）（▲20%）</li> <li>③ふくしまの酒まつりへの参加者数（+3,500人）</li> <li>④開発商品及び受賞商品の売上額の拡大（事業実施の翌年度計測）（+50%）</li> </ol>	<p>関連URL</p>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p><a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>（効果検証）</p> <p><a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p>



# 事業概要【農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	福島県ほか6自治体※		初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,025,313千円 (215,118千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業未経験者の若者が、福島県の農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根ざしながら安心して農業を行える環境の整備を図る。</li> <li>・県外からの新規就農者が定着、継続的な受入、そして定着が根付くことで、県外から新規就農した先輩がサポートしてくれる安心感から、人が人を呼び込む好循環ができあがり、多くの産地が活性化することを図る。</li> </ul>			
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住む（移住）×仕事（就農）による新規就農者確保と担い手育成</li> <li>・新規就農者支援拠点の構築(補助金)54,006千円</li> <li>・情報発信、各種イベントの開催等(委託料)81,632千円</li> <li>○浜通り発 労働力こらんしょモデルの構築及び普及</li> <li>・農家の農作業指導の支援、首都圏学生等を対象とした農作業体験を通じた地域交流(委託料)31,000千円</li> <li>○農業等PR専用サイト、SNS等活用による記事広告掲載（委託料）495千円</li> <li>○新規就農希望者に対し各種PR、就農体験、就農に向けた相談対応（指導報償費）112千円、（パンフレット作製費用）137千円</li> <li>○就農イベント参加、農業情報総合サイト記事掲載（需用費、役務費等）690千円</li> <li>○ワンストップ型就農支援体制モデル委託事業（委託料）1,947千円</li> <li>○アグリテック技術の導入及び実証普及に係る経費補助（補助金）3,000千円</li> </ul>		 	
※経費内訳は R7年度事業費				
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規就農者数（+1,655人）</li> <li>②県外からの新規就農者数（+305人）</li> <li>③雇用就農者数（+827人）</li> <li>④浜通り地域等の生産現場での作業受託件数（+28件）</li> </ul>	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a>          福島市：<a href="https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html">https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html</a>          白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a>          須賀川市：<a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html</a>          二本松市：<a href="https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shigoto_sangyo/nougyo/sesaku/page010542.html">https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shigoto_sangyo/nougyo/sesaku/page010542.html</a>          郡山市：調整中          柳津町：令和7年度3月公表予定          （効果検証）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a>          福島市：<a href="https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html">https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html</a>          白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a>          須賀川市：<a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html</a>          二本松市：<a href="https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyosei/gyousei_hyoka/page000103.html">https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyosei/gyousei_hyoka/page000103.html</a>          郡山市：<a href="https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html">https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html</a>          柳津町：<a href="https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2021060100019/">https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2021060100019/</a></p>	関連URL	
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値				

※福島県、福島市、白河市、須賀川市、二本松市、郡山市、柳津町の広域連携事業

# 事業概要【中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県、塙町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	509,314千円 (95,574千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域外の人材の協力による自然環境と共生した農村の創出、維持を図る。</li> <li>・生産から販売までを通じた地域農業経済モデルの創出による農業の稼ぐ力の向上、担い手の参入と定着を図る。</li> <li>・自然環境と共生した農村の創出・維持と、農業の稼ぐ力の向上による担い手の参入と定着の好循環が、条件に不利のない都市的農業地域や平坦地域にも波及し、地域全体の活性化へ寄与。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費	<p>○関係人口の創出等による中山間地域等の維持・活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農村地域と地域外人材のマッチング支援（使用料及び賃借料、委託料）8,000千円</li> <li>・維持管理負担継続による営農作業の効率化（委託料）7,900千円、（需用費）6千円</li> </ul> <p>○新たな地域農業経済モデルの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用果樹園の有効活用(果樹園地継承啓発セミナー)(報償費)57千円、(旅費)192千円、(需用費)480千円、(使用料賃借料)90千円</li> <li>・花きの地域内消費のモデルの創出(花代、花きPRパネル代等) 765千円、(印刷製本費等) 6千円</li> </ul>		 <p>▲ オンライン交流会 ▶ 地域内対話支援</p> 
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農産物販売金額1,000万円以上の農業経営体数（+363件）</li> <li>②農地・農業用水等の保安全管理などの地域農業の持続的発展に資する取組を行う関係人口の数（+174人）</li> <li>③農地中間管理事業を活用した園地継承重点対象3品目（もも、日本なし、ぶどう）の賃貸面積（+106ha）</li> <li>④県内4市場における県産花きの取扱い本数（+270万本）</li> </ul>		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>塙町：<a href="https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html">https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html</a> （効果検証）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p> <p>塙町：<a href="https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html">https://www.town.hanawa.fukushima.jp/page/page002077.html</a></p>
※経費内訳はR7年度事業費			
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			
関連URL			

# 事業概要【スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト】

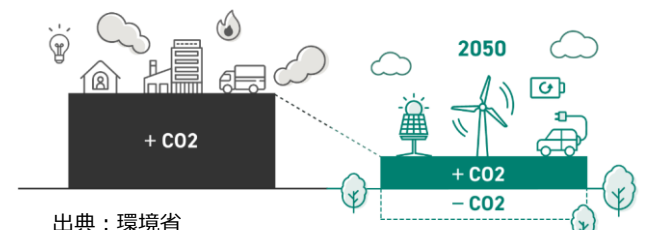
旧制度（推進）

申請者	福島県ほか6自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	598,613千円 (95,424千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	「スポーツ」というあらゆる人々の共通項となり得る「ツール」を用いて、県民相互の交流を促進し、高齢者や障がいのある人も含めた多様な人々が交流・活躍できる機会を創出することで、全ての県民がいきいきと活躍できる社会を形成するとともに、スポーツ観戦客を広く呼び込む取組や合宿等の誘致を図ることにより県外からの交流人口を拡大させるなど、スポーツが持つ力により地域全体の活性化を実現する。		
事業概要・主な経費  ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○eスポーツを用いた多様な交流・つながり創出プロジェクト 「誰でもどこでも楽しめる」特性をいかし、eスポーツを通じて多様な交流を促進するイベントの実施（委託料）8,340千円他</p> <p>○パラスポーツによる多様性理解促進プロジェクト 障がいのない人も対象とした出前講座や体験イベント等を実施し、多様な交流を推進（委託料）10,594千円他</p> <p>○プロスポーツによる地域活性化プロジェクト 県内のプロスポーツチームの選手と県民が交流するイベントやPR、県外のサポーターが観戦時に県産品等の魅力にふれあう機会を設けることで、スポーツ観戦による交流人口拡大を図る（委託料）45,747千円他</p> <p>○サイクリングを活用した持続可能な地域づくりプロジェクト サイクリングコースや合宿誘致を目的としたコンテンツを造成し、持続的な誘客や交流人口拡大を図る（委託料）8,764千円他</p>	<p>・全ての県民が、いきいきと活躍できる社会形成 ・スポーツの力による地域活性化</p> <p>多様な交流機会創出</p> <p>交流人口拡大</p> <p>eスポーツ    パラスポーツ    プロスポーツ    サイクリング</p>	
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本事業をきっかけに誘致・開催されたスポーツ関係の大会・合宿等の参加者数（+2,960人）</p> <p>②民間主体のeスポーツ交流イベント等の開催件数（+22件）</p> <p>③パラスポーツ出前講座等受講者数（+5,500人）</p> <p>④プロスポーツ平均入場者数（+3,562人）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a>          福島市：<a href="https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html">https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html</a>          郡山市：調整中          いわき市：<a href="https://noreru-iwaki.jp/">https://noreru-iwaki.jp/</a>          白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a>          須賀川市：<a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html</a>          喜多方市：<a href="https://zo-sa.net/news/5122/">https://zo-sa.net/news/5122/</a></p> <p>（効果検証）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a>          福島市：<a href="https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html">https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html</a>          郡山市：<a href="https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html">https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html</a>          いわき市：<a href="https://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1457395174096/index.html">https://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1457395174096/index.html</a>          白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a>          須賀川市：<a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html</a>          喜多方市：<a href="https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html">https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html</a></p>

※福島県、福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市の広域連携事業



# 事業概要【福島発産学官連携による脱炭素社会推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	163,092千円 (32,890千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関連産業の育成・集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取り組みを後押しし、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出を図るため次を行う。 ①県内企業の脱炭素化による産業競争力維持・向上 ②水素関連産業の育成・集積に向けた人材育成・確保		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳は R7年度事業費	○脱炭素関連技術開発事業化可能性調査 ・脱炭素関連産業参入に向けた関連技術F S調査実施支援（補助金）20,000千円（事務経費）216千円 ○産学官連携水素研究支援事業 ・福島大学が設置する水素関連調査・研究に対して支援し、本県の水素社会の実現及び関連産業の育成集積を図る。（補助金）10,000千円他 ○未来を担うカーボンニュートラル人材育成事業 ・工業高校生等に対し、福島県再生可能エネルギー研究所やREIFふくしまの見学などを通じ、再エネ・水素関連技術などカーボンニュートラルに関する取組を学ぶ機会を提供し興味や関心の喚起、知見の習得を促す。（使用料賃借料）2,240千円		 出典：環境省
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①脱炭素化に向けた計画を策定し、実現した企業数（+19件） ②水素関連企業との共同研究や事業化など商談が成立した企業数（+7件） ③テクノアカデミーにおけるZEH関連資格（スマートマスター）の取得件数（+17件） ④脱炭素関連技術開発事業化可能性調査を実施した企業数（+25件）		関連URL  （交付金の具体的使途・実施体制） <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a> （効果検証） <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a>

# 事業概要【転職なきふくしまぐらし。推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	福島県ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	583,717千円 (212,106千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	テレワーク等をはじめとした多様な働き方や暮らし方が可能な環境を整備するとともに、県内における理想の働き方や暮らし方の実践事例をPRし、移住を促進する。さらに、移住してきた新たな人材が地域課題のビジネス化を通して地域との関わりを深めていくことを促し、地域活力の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳は R7年度事業費	<p>○転職を伴わない移住者等の取込</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク体験や移住体験の受け入れ環境の整備等（委託料等）164,273千円</li> <li>・オーダーメイドてんえい暮らし体験事業（委託料等）8,741千円</li> <li>・シティプロモーション推進事業（委託料）3,480千円</li> </ul> <p>○地域課題のビジネス化による解決</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業等がビジネスとしての地域課題解決に取り組む事例をモデル化（委託料等）15,920千円</li> <li>・地域キーパーソン等とのマッチング（委託料等）19,692千円</li> </ul>		  <p>受け入れ環境の整備（テレワーク体験者や地域の方を交えたトークイベント）</p> <p>地域課題のビジネス化（地場産品のポップアップストアを展開）</p>
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①本県で転職を伴わないことを前提とした移住体験をした人数（+780人）</p> <p>②ビジネス化した地域課題数（+9個）</p> <p>③仕事化した地域課題等に関わった人数（+510人）</p> <p>④転職を伴わない移住者等と地域をつなぐ拠点となったテレワーク施設数（+33施設）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>須賀川市：<a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html</a></p> <p>天栄村：<a href="https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/ijju/">https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/ijju/</a></p> <p>伊達市：令和7年9月公表予定（効果検証）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p> <p>須賀川市：<a href="https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html">https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_osei/1010772/1015615.html</a></p> <p>天栄村：<a href="https://www.vill.tenei.fukushima.jp/soshiki/35/chihouseisei-sougousenryaku2.html">https://www.vill.tenei.fukushima.jp/soshiki/35/chihouseisei-sougousenryaku2.html</a></p> <p>伊達市：<a href="https://www.city.fukushima-date.lg.jp/soshiki/1/74845.html">https://www.city.fukushima-date.lg.jp/soshiki/1/74845.html</a></p>

※福島県、須賀川市、伊達市、天栄村の広域連携事業

# 事業概要【ふくしま中小企業等DX伴走支援事業】

申請者	福島県ほか2自治体※				初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	157,217千円 (57,728千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術等により企業の生産性を高め、魅力ある商品、サービスの提供を図る。</li> <li>魅力ある企業が増加することで、県内への移住・定住促進を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○DX理解促進・伴走支援に係る委託費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足等の課題についてDX推進による解決手法を学ぶセミナー・ワーク・ショップを開催（委託料）5,563千円</li> <li>・企業のDX導入に向けた伴走支援（委託料）29,098千円</li> <li>・成果発表会、事例集・動画作成：2,453千円</li> </ul> </li> <li>○高度データ利活用ひとづくり事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・データを活用できる即戦力人材の確保・育成支援（委託料）2,739千円</li> </ul> </li> <li>○DX導入支援補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のクラウドサービスシステムを活用したデータ管理の導入等を支援（補助金）10,000千円</li> </ul> </li> </ul>				<p>社外の知見を活用したい県内企業</p> <p>デジタルに知見を有する専門家（アドバイザー）</p> <p>マッチング</p> <p>経営課題の相談</p> <p>DX推進に関する伴走支援</p> <p>企業の経営課題に応じたDX専門家による伴走支援！！</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>伴走支援で得られたた県内中小企業の多様なDX導入事例を商工会、商工会議所と連携して、県内事業所に周知、紹介することでDXの推進を図っていく。</p> <p>また、企業内のDX推進に必要なデジタル技術に強い人材育成等について、県内大学と意見交換を行い、連携した取組を検討していく。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伴走支援によりDXを推進し、経営課題に取り組んだ企業数（+93社）</li> <li>②DX理解促進セミナーへの参加者数（+320社）</li> <li>③横展開したモデル事例数（+300社）</li> </ul>

※福島県、いわき市、須賀川市の広域連携事業

# 事業概要【福島県次世代航空モビリティ・宇宙産業集積推進事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	387,549千円（151,771千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	<p>・社会実装が進み急速に市場が拡大すると予測されている次世代航空モビリティ分野について、コーディネーターの設置、サプライチェーン構築などに取り組み、育成・集積を図る。</p> <p>・民間取引の拡大基調に移行した宇宙分野において、新たに産学連携の研究開発支援に取り組むなど、育成・集積を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳は R7年度事業費	<p>1 次世代航空モビリティ分野</p> <p>(1)航空宇宙産業コーディネーターの活動【委託料】(20,000千円)</p> <p>(2)次世代航空モビリティ分野に関する企業勉強会を運営 【報償費（講師）、講師旅費、需用費（資料準備）】(3,000千円)</p> <p>(3)サプライチェーン構築支援【補助金（研究費用）】(10,000千円)</p> <p>(4)認証・資格取得について、選定企業に対する技術的支援 【委託料（専門機関支援）、補助金（認証取得経費）】(12,281千円)</p> <p>2 宇宙分野</p> <p>(1)県内大学と県内企業の共同研究・技術開発【補助金】(20,000千円)</p> <p>(2)JAXAとの連携強化（企業の技術力向上）【委託料】(1,500千円)</p> <p>(3)展示商談会等への出展を支援【委託料、補助金】(30,316千円)</p> <p>(4)県内宇宙系スタートアップを支援【委託料、使用料、役務費】(14,674千円)</p> <p>3 次世代航空モビリティ分野・宇宙分野</p> <p>機材設備導入を支援【補助金】(40,000千円)</p>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①次世代航空モビリティ関連分野及び宇宙関連分野への参入企業数（+13社）</p> <p>②サプライチェーンにおける受注件数（+4件）</p> <p>③次世代航空モビリティに対応した認証取得企業数（+4社）</p> <p>④「航空機用原動機製造業」・「その他の航空機部分品・補助装置製造業」付加価値額（経済センサス）（+60百万円）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p><a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>（効果検証）</p> <p><a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p>



# 事業概要【福島県産医療機器ステップアップ支援事業】


旧制度（推進）

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,279千円 (64,093千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>福島県内医療機器等メーカーによる新たな医療機器等開発案件が創出されるとともに、開発した製品の販売が促進されることにより、医療機器生産金額及び部品等出荷金額を増加させる。 「医療関連産業を軸とした活力ある経済活動が持続するまち」を目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○全国の医療現場における開発ニーズの目利きを実施し、事業性が見込まれる案件について、県内医療機器等メーカーとのマッチングを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発ニーズと県内医療機器等メーカーのマッチング支援に係る経費（委託料）12,454千円</li> <li>・試作製作支援費（補助金等）10,058千円</li> </ul> <p>○県内企業が開発した製品のフォローアップ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した製品に関する市場調査等のフォローアップに係る経費（委託料）41,581千円</li> </ul>		<p>マッチング支援のイメージ</p>
KPI	<p>① 当事業による医療現場ニーズと県内医療機器等メーカーのマッチング件数 (+15件)</p> <p>② 当事業により事業化または取引先数が増加した製品数 (+10件)</p> <p>③ 医療機器製造業登録事業者数 (+10件)</p> <p>④ 本県における医療機器生産金額 (+564億円)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的用途・実施体制 <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a> (効果検証) <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a>)</p>

※経費内訳はR7年度事業費


※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

# 事業概要【デジタル技術を活用したものづくり企業の働き方改革支援事業】旧制度（推進）

申請者	福島県、白河市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	210,123千円 (71,859千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の製造現場への導入により、働き方改革を推進し、ものづくり企業の魅力向上を図る。</li> <li>・中小ものづくり企業が働きやすい企業に成長することにより、女性・若者の新規就労者が増加し、活躍することで地域の魅力の向上を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳は R7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製造業における働き方改革モデルの創出</li> <li>・セミナー、ワークショップの開催及びコーディネータ、アドバイザー派遣（委託料）15,730千円</li> <li>○地域産業の魅力向上支援</li> <li>・日本酒の製造工程をデジタル技術で見える化するIoTセンサデバイス及びデータ共有システムを試作開発（需用費）1,950千円、（委託料）7,106千円、（備品購入費）10,613千円他</li> <li>○働き方改革高度化支援</li> <li>・デジタル技術の試験導入と効果検証が手軽にできる「試作キット」の開発及び実証ラボの整備（需用費）7,900千円、（委託料）3,100千円他</li> <li>○中小企業DX活用推進事業</li> <li>・DX伴走支援及びセミナー開催（委託料）6,589千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域における人口一人当たりの労働生産性（+571千円/人）</li> <li>②セミナー、ワークショップ、成果発表会等の参加者数（+480人）</li> <li>③デジタル技術導入支援数（+315件）</li> <li>④デジタル技術の導入による働き方改革・改善件数（+30件）</li> </ul>	関連URL	<p>（交付金の具体的用途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a></p> <p>（効果検証）</p> <p>福島県：<a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p> <p>白河市：<a href="https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html">https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html</a></p>

# 事業概要【地域課題解決プロジェクト創出事業】

旧制度（推進）

申請者	福島県、会津若松市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	439,531千円（152,177千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な人材が自分らしい働き方をできる新たなしごとの創出</li> <li>・地域課題を解決する新たなチャレンジ人材の確保</li> <li>・新規性・成長性をもった事業者と地元企業の連携による新事業創出</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費  ※経費内訳は R7年度事業費	<p>○新規性・成長性のある事業者の創出・意識醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピッチコンテストの開催（委託料等）11,333千円</li> <li>・新規プロジェクト立ち上げ支援（委託料等）21,670千円</li> </ul> <p>○地域課題解決に向けた新規チャレンジ人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内等の大学・研究機関の事業化支援（委託料等）40,774千円</li> <li>・女性の創業支援専門人材育成（委託料等）7,694千円</li> </ul> <p>○新規性・成長性のある事業者の成長支援と県内企業との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内での事業拡大に向けた成長支援（委託料等）25,340千円</li> <li>・デジタル商品、サービスおよび技術の展示・体験会を開催（委託料等）14,550千円</li> </ul>		
KPI  ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地方へのU I Jターン数（+250世帯）</li> <li>② 新規プロジェクト立ち上げ件数（+29件）</li> <li>③ 地域課題解決事業と県内企業等のマッチング件数（+32件）</li> <li>④ 意識醸成に向けたコンテスト参画数（+270人）</li> </ul>	関連 URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>福島県：<a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/deziden-kohukin.html</a></p> <p>会津若松市：<a href="https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100_032/">https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100_032/</a></p> <p>（効果検証）</p> <p>福島県：<a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html</a></p> <p>会津若松市：調整中</p>

# 事業概要【魅力発見。ふくしまローカル鉄道利活用事業】

申請者	福島県ほか6自治体※					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	125,049千円 (37,055千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>人口減少・高齢化が進む中、サービス産業が衰退し、それが若年層の減少を加速させるという負のスパイラルを回避する観点から、鉄道沿線を軸に都市機能が集積するという構造を活かして、沿線の市町村間で機能を分担・連携する「コンパクト＋ネットワーク」を構築し、住民が参画した地域社会を形成することにより、持続可能な地方創生を実現する。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○磐越東線の魅力を強烈に発信することで、鉄道ファンを中心に県内外から誘客し路線の認知度を向上させるとともに、沿線住民の関心を高め、住民を巻き込んだ駅と鉄道を活かした地域活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磐越東線「ふくしま鉄道博」開催等（委託料）16,763千円</li> <li>・公共交通サービス運行実証事業等（委託費等）5,990千円</li> <li>・水郡線利活用事業（サイクルロゲイニングイベント）（委託料）3,000千円</li> <li>・小川地区域内交通確保実証事業等（負担金等）6,134千円</li> <li>・団体臨時列車運行事業等（委託費）3,368千円</li> <li>・小野新町駅開業110周年記念イベント（委託費等）1,800千円</li> </ul>						
地域の多様な 主体の参画	<p>沿線の商工団体、市町村、県と沿線自治体で構成する協議会等において、地元イベントと県事業の連携を図るとともに、沿線地域の中心的な立場からの意見を吸い上げ、今後の運営への反映に取り組む。</p> <p>沿線の高校・大学等において、利活用プレゼン大会参画や部活動・サークル等によるイベントへの協力を図るとともに、鉄道の通学利用者の立場、地域の将来を担う若い世代の立場からの意見を吸い上げ、今後の運営への反映に取り組む。</p> <p>沿線の新聞社等において、事業に関する情報発信への協力を図るとともに、メディアの立場からの意見を吸い上げ、今後の運営への反映に取り組む。</p>					<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人口・世帯数（▲6,389人）</li> <li>②来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合（+4.50%）</li> <li>③地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合（+40.00%）</li> <li>④地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合（高校在学中）（+70.00%）</li> </ul>

※福島県、郡山市、石川町、玉川村、いわき市、田村市、小野町の広域連携事業

# 事業概要【選ばれるふくしま県内企業人材確保プロジェクト】


申請者	福島県ほか2自治体※				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	657,141千円 (219,047千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業の魅力の底上げ及び魅力の発信力強化の初期段階を支援するとともに、企業一社一社が自社の魅力に気づき、魅力を高め、魅力を発信するサイクルを構築することで、県内外の若年層を含めた多くの人材確保・定着が進んでいる状況を目指す。</li> <li>県内製造業において若年人材を安定的に確保できる仕組みを構築し、産業競争力の強化や地域活性化による本県全体の魅力向上を目指す。また、若年人材が活躍ができる新規就業を実現するのみならず、新入社員のネットワークづくりや相談支援を行うことで職場定着を図る。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 以下の取組を一体的に取り組み、県内企業の魅力の底上げ、魅力の発信、学生と企業の接点創出を行うことで、県内企業の認知度向上、理解促進及び県内就職への関心向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若者に選ばれる県内企業魅力づくり</li> <li>○就活サイトタイアップ 企業情報発信</li> <li>○県内企業体験ツアー・交流会運営</li> <li>○学生×企業デジタルプロジェクト</li> <li>○若年者に対する製造業の理解促進 (高校生・理系大学生)</li> <li>○新規高卒者の県内就職促進</li> <li>○上場企業育成支援</li> </ul> <p>【ソフト事業経費】 ・セミナー、ツアー・交流会開催、情報発信、対象者への講話等の実施 (委託料) 219,047千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>本プロジェクトの魅力づくり、情報発信の主体となる県内企業に広く参加を促し、参加後の取組の内製化を支援するとともに、本事業のターゲットとなる若者の所属する教育機関と保護者に向けて広く周知広報や協力、参加勧奨を行う。また、報道機関や地元金融機関の協力も仰ぎ、広く企業及び県民への周知広報を行う。事業実施にあたっては、企業及び若者双方のニーズや課題を把握し、事業運営に反映していく。</p>				<p><b>KPI</b> ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①雇用保険被保険者数 (±0人)</li> <li>②新規大学等卒業者の県内就職率 (+1.5%)</li> <li>③新規高卒者の県内就職率 (+0.15%)</li> <li>④転職サイトタイアップによる公開企業情報への応募数 (+750件)</li> <li>⑤参加者アンケートによる地元企業に興味を持った人数の割合 (+0.45%)</li> </ul>

# 事業概要【多様な人材活用促進事業】

申請者	福島県ほか4自治体※				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	91,378千円 (29,641千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	シニア層や育児・介護中の短時間労働希望者、障がい者、外国人などをはじめとした多様な人材の活用・働き方に対する企業の「気づき」を促すとともに、受入に向けた環境・体制づくりを図ることで、人手不足の解消と、立場の異なる多様な人材が働き手として活躍できる社会を形成する。					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 多様な人材活用に対する企業の「気づき」を促すセミナーや活用事例の情報発信等を行うとともに、人材の受け入れ、雇用に向けた相談支援やセミナー、交流会等の開催を行うことで、多様な人材活用の推進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○求める人材再発見支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー実施、企業見学会、動画制作（委託料）15,104千円</li> </ul> </li> <li>○多様な人材雇用に向けた支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人材雇用サポートデスク運営、人材迎え入れセミナー、労働者交流、障がい者向けオンラインサロン構築（委託料）14,537千円</li> </ul> </li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	人材活用の主体となる県内企業に広く参加を促すとともに、多様な人材に係る教育機関や支援機関と連携して対象者の課題やニーズを把握していく。また、報道機関や地元金融機関の協力も仰ぎ、広く企業及び県民への周知広報を行う。事業実施にあたっては、企業及び人材双方のニーズや課題を把握し、事業運営に反映していく。				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①雇用保険被保険者数（±0人）</li> <li>②本事業による外国人雇用（+75件）</li> <li>③外国人向け研修会・交流事業参加者数（+30人）</li> <li>④メタバースによるオンラインサロン参加から就労支援機関につながった利用者数（+8人）</li> </ul>


※福島県、福島市、会津若松市、いわき市、須賀川市の広域連携事業

# 事業概要【福島県観光誘客促進プロジェクト事業】

申請者	福島県ほか6自治体※					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,364,661千円 (509,652千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	観光周遊施策の強化・充実を図ることによって、県内の観光客入込数だけではなく、観光宿泊者数の増加を図る。加えて、観光交流人口に留まらず、その先の移住・定住人口の増も見据え、まずは新型コロナや人口減少により低下するおもてなし力(観光受入体制)の強化を図り、「再び訪れたい福島」を創り、旅行者満足度の向上やリピーター増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○観光客受入体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・destinationキャンペーンのぼり等のPR素材の制作及び観光事業者等に対するおもてなし研修の実施(委託料) 56,101千円</li> </ul> <p>○観光コンテンツの造成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光事業者等への専門家派遣による観光コンテンツの磨き上げの支援の実施。(委託料) 12,100千円</li> <li>・新しい切り口での新規観光コンテンツ造成の支援(補助金) 13,605千円</li> </ul> <p>○本県観光の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド観光客を獲得するため、福島県ならではのストーリー性を持ったコンテンツの情報発信(委託料) 39,144千円</li> </ul> <p>○観光客獲得、周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に数多く点在しているアートを切り口とした観光周遊の推進(委託料) 20,812千円</li> <li>・広域周遊のための移動支援の推進(委託料) 33,517千円</li> </ul>					 <p>キャッチコピー発表会</p>	
地域の多様な 主体の参画	官民一体となって事業を進めていくため、県と市町村の代表(方部協議会)、観光団体、経済団体、交通団体などで構成される「福島県destinationキャンペーン実行委員会」を立ち上げ、各種事業や方向性の調整等を実施する。					KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度まで の「KPI増加分の累 計」の目標値	<p>①観光客入込数 (+5,000千人)</p> <p>②県内宿泊者数 (+800,000人泊)</p> <p>③観光消費額(宿泊) (+30,000百万円)</p>

※福島県、福島市、郡山市、喜多方市、伊達市、檜枝岐村、玉川村の広域連携事業

# 事業概要【「未来につなぐものづくり」技能継承と価値創造プロジェクト】

申請者	福島県ほか2自治体※				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	403,521千円 (142,523千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方経済の創生分野
目的・効果	<p>○県内中小製造業が県内IT産業と連携しながら、IT技術を駆使し効果的な知識・技能継承を実現し、更に自社製品の付加価値向上や新規取組に挑戦することができるような企業競争力の高いふくしまを目指す。</p> <p>○地域の産業振興を担う産業支援機関の支援力を強化することにより、企業が抱える商品開発や技術的な課題等の解決につなげる。さらに、中小企業の有するノウハウ、知見、アイデア、デザイン等の無形資産は企業競争力の源泉であり、戦略的に活用することが求められる。これらの知見を産業支援機関が獲得し、企業支援に活用することで、産業財産権の出願数の増加に結び付け、企業価値の向上につなげる。</p>					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○ものづくり技能継承支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内中小企業の重要な業務プロセスや製造技術における知識・技能継承に効果的なシステム等の導入支援（委託料）42,147千円、（補助金）2,000千円</li> </ul> <p>○ものづくり中小企業開発・開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小製造業の製品開発支援、商品販売、ノウハウに関する伴走支援、DX技術導入に係る企業向けセミナー、海外販路開拓のための展示会出展支援（委託料）30,563千円、（補助金）2,000千円他</li> </ul> <p>○キャッシュレス決済端末導入支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済事業者等によるセミナーやワークショップ（委託料）22,434千円</li> <li>・キャッシュレス端末導入に係る費用補助（補助金）10,500千円</li> </ul>					
地域の多様な 主体の参画	<p>○本事業の推進主体として県内製造業と共同で事業に取り組むとともに、県内企業に対し、本事業内容の周知・広報を実施する。</p> <p>○大学の高度な知見を活かし、企業が抱える課題解決のための専門家として参画していただく。</p> <p>○金融機関から経営・資金面からの専門的な助言や情報共有をいただいたり、事業化の際に必要な融資を実施していただく。</p> <p>○定期的な報告会等を通じて企業、大学、金融機関、報道機関から課題やニーズ等の意見を頂き、施策に反映する。</p>				<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①本事業によりDX化に取組み、経営改善することが出来た事業者数（+57社）</p> <p>②知識・技能継承に係るIT技術の試行的導入数（+10件）</p> <p>③知識・技能継承に関するIT導入をきっかけに、更なるIT利活用に繋げた企業数（+5社）</p> <p>④開発製品関連の売上総額（+9,000千円）</p> <p>⑤産業財産権の出願件数（+138件）</p>

# 事業概要【エアロスペース人材育成事業】

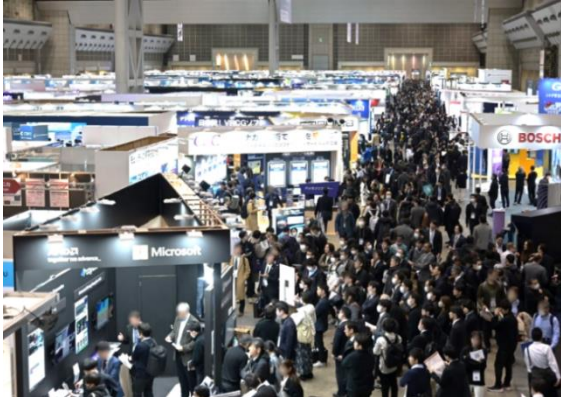
申請者	福島県、福島市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	97,210千円 (29,255千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宇宙産業において福島県は地理的に東側に海が開けていてロケットなどが打ち上げやすいという利点があり、相性の良い企業や洗練された関連技術がたくさんあるためにサプライチェーンの獲得という面でも強みがある。そのため航空宇宙産業が県を代表する産業の一つとして大きく成長し、若年者を中心に製造分野の従事者も増加していくことが期待される。</li> <li>・宇宙開発においても国を牽引し、研究施設等も整備され、宇宙産業への支援も強化していく。</li> </ul>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 LSAを技術者向けの機体形状の検証や若年者向け校外学習の場として活用、技能者育成プログラムの作成・検証、航空宇宙関連産業新規参入検討企業在職者向けセミナーを実施する。また、子供向けに空をテーマにしたイベントを開催する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成LSA（軽量スポーツ航空機）の活用（委託料）9,315千円、（役務費）400千円他</li> <li>・宇宙関連機器製造における技能者育成プログラム開発（委託料）3,567千円、（需用費）3,601千円他</li> <li>・企業在職者向けセミナー（委託料）3,550千円、（役務費）300千円他</li> <li>・ふくしまスカイパーク活用推進事業（委託料）4,700千円</li> </ul>				<p>完成軽量飛行機</p>  <p>小型ハイブリッドロケットエンジンの燃焼試験</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>地元関連企業の在職者に対して、航空宇宙関連産業で必要とされる技術付与のためのセミナー等を開催し、航空関連産業への興味関心を高めるとともに、地域活性化を図る。</p> <p>テクノアカデミーと共同で事業の軸となる技能者育成プログラムの開発・作成およびその実証を行い、さらに地域のイベントなどの実践的校外実習により、航空関連産業への従事者増を目指す。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①テクノアカデミーの関連科における県内航空宇宙関連企業への就職者数（+6人）</li> <li>②宇宙関連機器製造における技能者育成プログラムの作成数（+6本）</li> <li>③企業在職者向けのセミナーの受講者数（+160人）</li> </ul>

# 事業概要【福島県医療関連産業成長のためのエコシステム構築事業】

申請者	福島県	初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	591,767千円 (198,089千円)
経費の種類	ソフト事業 ✓	拠点整備事業	インフラ整備事業
事業分野	ローカルイノベーション分野		
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーションを創出できる次世代の医療関連産業人材を育成し、若年者等の地域定着を促進する。</li> <li>・全国のスタートアップ企業等のアイデアを県内ものづくり企業等が連携して形にするシステムを構築する。</li> <li>・産業のすそ野拡大のため、IT/AI技術を活用した医療機器開発を支援できる県内企業の増加を図る。</li> <li>・世界の医療機器市場の約44%を占める米国市場に参入する県内企業の増加を図る。</li> </ul>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○高校生等向け人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器体験学習会等（委託料）16,200千円</li> </ul> <p>○高校生等を指導できる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオデザイン講座等（委託料）9,400千円</li> </ul> <p>○普及啓発のためのイベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生向けのイベント（委託料）7,500千円</li> </ul> <p>○スタートアップと県内企業との取引成立を促進する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業と連携したブース出展経費等（委託料）99,089千円</li> <li>・医療機器開発支援経費（補助金等）20,530千円</li> </ul> <p>○県内IT関連企業等の医療関連産業への参入を促進する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療関連産業への新規参入を目指す企業への伴走支援等（委託料）19,500千円</li> </ul> <p>○米国市場獲得に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国で開催される展示会への出展・ブース装飾費用等（委託料）20,700千円</li> </ul>	<p><b>バイオデザイン講座</b></p>  <p><b>取引成立促進支援</b></p>  <p><b>SaMDビジネス参入支援</b></p>  <p><b>米国展示会出展支援</b></p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>○協議会との定期的な意見交換や、県・機構・参加高校等による人材育成に関する意見交換会を実施し、施策に反映する。</p> <p>○県の医療関連産業の施策について産学官で検討する次世代医療産業推進プロジェクト企画運営委員会において、施策の実施状況や今後の対応方針に関する意見を聴取し、施策への反映を行う。</p>	<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①福島県における医療機器生産金額（+117億円）</li> <li>②プログラム参加者の県内医療機器関連産業への就職数（+6人）</li> <li>③本事業により成立したスタートアップ企業等と県内企業との取引成立数（+8件）</li> <li>④米国展示会を契機とした商談成立件数（+15件）</li> </ul>



# 事業概要【次世代モビリティ・E V 参入促進事業】

申請者	福島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	92,268千円 (29,794千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・自動車関連企業自らが、電動化やSDV（ソフトウェア・ディファインド・ビークル）等の生産に係る事業環境の変化に柔軟に対応できるよう、業界の潮流の変化を的確に捉えることができる力をつけ、事業転換や新分野参入を見据えた製品開発や独自の販路構築を進め、新たな取引を増加させることにより、持続的な操業を目指す。</p> <p>・カーボンニュートラル関連産業の育成、集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取組を後押しすることにより、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出、定住促進を図ることを目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>○次世代モビリティ・E V 参集促進事業</p> <p>・次世代モビリティ分野の基礎知識や業界ニーズを習得するセミナー（委託料）21,915千円、（需用費）100千円他</p> <p>○水素関連産業人材育成事業</p> <p>・水素活用に関わる技術動向等を学ぶセミナー・見学会開催（委託料）6,519千円、（需用費）926千円他</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>○福島県内の自動車関連企業が主となる福島県輸送用機械関連産業協議会の会員向けに、セミナーやワークショップ等を開催し、業界の最新情報を収集する機会や企業間の関係性構築につながる機会を提供することで、新分野参入や企業間連携を促進する。</p> <p>○事業展開に当たっては、セミナーやワークショップの参加企業にニーズ等の意見を頂き、事業内容に反映する。</p> <p>○水素関連産業の普及拡大や産業の参入に向け、水素関連研究会や水素関連企業から頂いた意見を企業在職者等対象のセミナーや講座等の事業運営に反映させる。</p>					<p><b>KPI</b></p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①本事業による支援企業等の商談成立件数（+35件）</p> <p>②自動車関連企業向け展示商談会への出展企業数（+39社）</p> <p>③ワークショップ・セミナーへの参加企業数（+90社）</p> <p>④福島県内の水素関連研究会及び活動団体に新規参加した企業数（+9社）</p>